



会 長 道尻 誠助	青少年奉仕 正部家光彦
副会長 小井田和哉	幹 事 紺野 広
クラブ奉仕	会 計 峯 正一
会長エレクト 小井田和哉	会場監督 村上 壽治
職業奉仕 石橋 信雄	直前会長 佐々木泰宏
社会奉仕 川村 幸雄	副幹事 深澤 隆
国際奉仕 築館 智大	会計補佐 渡辺 孝

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報・広報委員長 広瀬 知明 同副委員長 福井 哲郎
 同 委 員 奈良 全洋

国際ロータリーのテーマ — 2020~21 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

来週も会おう!!

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

八戸ロータリークラブ会長 道尻 誠助

5 月 は 青 少 年 奉 仕 月 間 で す

第 3 1 8 6 回 例 会 2 0 2 1 . 4 . 2 8

会 長 要 件 道尻 誠助 会長



「ロータリーの友」の読後会をスタートされたのが妻神さんです。それまでほとんど読むことがなかったのですが、それがきっかけで読むようになりました。本当に感謝しています。その後、大事な記事よりちょっと面白い記事を読むという習慣になりました。

日本の「ロータリーの友」は1953年1月創刊で、名前は「主婦の友」を真似たそうです。その年の8月号に、中村貞子さんという方がロータリー奨学生としてアメリカでお世話になった、そのお礼に代えて、という記事が載っています。この方は結婚されて緒方貞子さんに名字が変わります。日本人初の国連難民高等弁務官として活躍された方です。

「1951年度ロータリー財団奨学生としての留学の期間も終わった。第60区、61区のロータリアンのご援助とご激励により米国の首都ワシントンにあるジョージタウン大学の大学院で国際政治学を専攻した1年半は、私の一生を通じておそらく最も楽しく、有意義な

日々となろう。このような日々を与えてくださった皆さまにご報告と御礼を申し上げたいと思います」とつぶっています。最後に、「人のために何かをする気持ち、ロータリーの根本精神である“奉仕の気持ち”が、現実に社会に働き掛けている力の大きさを目の前で見られることができた」と結んでいます。

大活躍された方で若い時にロータリーにお世話になった方は他にもたくさんおられると思いますが、たまたま私が見た記事に載っていました。皆さんにも「ロータリーの友」を読んでいただければと思い、ご紹介しました。

○表彰状の伝達

ロータリー財団ポールハリスフェロー

赤澤 栄治さん (左)



幹事報告 紺野 広 幹事

○市中のコロナ感染の状況：市民病院と日赤に8名ずつの入院、宿泊療養施設に2名の入院とかなり数は減ってきました。直近の1週間を見ますと4月22日(木)、24日(土)に1名ずつの発生に留まっています。だいぶ落ち着いてきました。

○先の理事会で5月の日程が決まりましたので、お知らせします。

- ・5月5日(水・祝) 休会
- ・5月12日(水) 職場訪問例会で八戸市美術館を訪問します。参加される方は11:50までにホテルに集合してください。食事後に美術館に移動して見学します。
- ・5月15日(土) 小菊荘の花壇整備。小菊荘でアンケートをとっており、それを受けてクラブからの参加者を何人にするか決めます。
- ・5月19日(水) 植草務さんによるオンラインでの会員卓話です。東京海上日動火災保険の大菅祥弘さんの後任、永澤信さんが例会に参加されますので歓迎したいと思います。理事役員会も開催します。

・5月26日(水) 地区研修・協議会報告と「ロータリーの友5月号」紹介(夏川戸齊さん)
○地区研修・協議会は5月22日(土)にあります。エレクトから口頭で参加が必要な方に打診があったと思います。ウェブ研修になる方も多いたと思いますが、日程を空けていただきたいと思います。

委員会報告

親睦・会場委員会 鴨澤 諭委員

○ニコニコボックスの報告

- ・会員誕生祝 鴨澤 諭・石橋敏文
中村稔彦さん
 - ・奥様誕生祝 小井田和哉・小林幹夫さん
 - ・結婚記念日 今 彰夫・山本 仁
接待一雄・種市良意
前原義一さん
- 鴨澤 諭さん 5/6で60歳、還暦です！娘たちが社会人になるまであと

20年現役で頑張らないといけません。

- 石橋敏文さん (会員誕生日)
小林幹夫さん 妻の誕生日はいつも遅くまで仕事です…。
- 小井田和哉さん (奥様誕生日)
種市良意さん あれから40年!(結婚記念日)
接待一雄・前原義一さん (結婚記念日)
道尻誠助さん 平戸さん、サッカーボールが飛んできそうな卓話、期待しています。よろしく願いいたします。
- 夏川戸 齊さん 平戸さんのサッカーの話、楽しみです。
- 橋本八右衛門さん お酒は悪くありません。ゴールデンウィークは家飲みでぜひ日本酒を!!
- 川村幸雄・赤澤栄治さん ニコニコデー



「当社とサッカーと私」

講師 平戸 昭彦さん
(東北電力八戸営業所所長)



昨年10月にこちらのクラブに入会させていただき、初めての卓話になります。どうぞよろしくお願いします。

本日は「当社とサッカーと私」と題して自己紹介も含めてお話しさせていただきます。東北電力がこれまでの歴史の中で実はこういうこともやっていたんだ、というところをご紹介させていただければと思っています。東北電力は今年5月1日(土)に70周年を迎えます。これまで支えていただいた全てのお客さま、地域の皆さまに感謝申し上げます。

全国で最初に電気がともったのは明治11年3月25日。この日は「電気記念日」に設定されました。東北は明治21年7月、青森県は明治30年1月、八戸市は明治44年6月に八戸水力電気という会社が是川発電所で発電した電気です。1300戸の電球がともったという歴史になっています。この会社は大正3年に島守発

電所を運開させ、平成11年に発電機が停止になり、翌年12月に東北電力から南郷村に譲渡され現在、旧島守発電所保存公園になっています。

東北電力の創立は1951年。58年には八戸火力1、2号が運転を開始。67年、八戸営業所が八日町から現在の堤町に移転。88年には東北地方のスポーツ振興のため、サッカー、ラグビー、女子バスケットボールの三つを特別強化種目に決定しました。そして、95年にブランメル仙台の活動開始、今のベガルタ仙台です。

私は1982年に入社し弘前営業所に配属され、87年に仙台営業所に転勤しました。東北各地に散らばっていたサッカーの選手を仙台圏の事業所に集めるためのもので、私もその1人でした。その後、仙台南などで仕事をし、現在は八戸営業所で仕事をしています。

これからサッカーについてお話しますが、当時と現在の国内サッカーリーグがどうなっていたかを振り返ってみます。サッカーのトップリーグはJリーグ（ヴァンラーレ八戸はJ3）で、次いでアマチュア最高峰のリーグJFL、その次が北海道から九州まで九つの地域リーグで、東北は東北リーグ1部、2部（北・南）があります。その下に都道府県リーグ、市町村単位のリーグがあり、八戸市のリーグは1～5部まであります。

1988年はJリーグがまだない時代で、日本サッカーリーグというリーグがありました。通称JSLで、それが1部と2部。その下に地域リーグ。当時の東北リーグは1部だけで、あとは同じような形でした。

われわれのサッカー部は東北リーグのほかには主な公式戦として天皇杯がありました。そのほかの公式戦は全国社会人サッカー選手権大会で、これは今もあります。国体サッカー競技のリハーサル大会として五十数年続いています。この大会はJFLのチームは出られず地域リーグ以下のチームでトーナメント方式でやっている大会で、東北からは2チームが出ることになっています。

東北電力サッカー部の創部についてご紹介

します。創部は1988年8月。最終的に7シーズンを戦い、その後、発展的解散になりました。本拠地は仙台市。寮やグラウンドが多賀城市にあって、活動の実質は多賀城市でした。創部理念は「一企業のシンボルだけではなく、地域の誇りとなるクラブに」。具体的には▷地域の代表として全国で活躍することにより、東北のスポーツ文化に貢献する▷社内の活性化と一体感の醸成—の二つがありました。先ほどお話した通り、社員を仙台圏の事業所に集めて活動を開始し、その後は新入社員を採用して戦力アップを図りました。基本的には東北出身者です。創部当時、青森県出身者は私のほかに3名いました。

創部時の選手数は22名。先ほどリーグのピラミッドを見ていただきましたが、一番下の市町村単位の仙台市の実業団リーグ1部からスタートしています。本来なら4部からスタートですが、1部に当社社員の愛好会があり、権利を譲ってもらって1部からスタートしたわけです。平日は仕事を終わってから19～21時に練習。土曜は午前中練習するか、あるいは練習試合か。日曜日はほぼ試合で、ずっとこんな生活を送っていました。選手は職場の支援を頂いてサッカーをやっているし、応援してもらいたいという気持ちもあって、まず仕事を最優先でやっていこうという意識で活動していました。

当時のシーズンを振り返ってみます。1988年は仙台市リーグの1部で優勝し、その後宮城県リーグの入替戦で優勝して県リーグに昇格。89年は県リーグ初参戦だったのですが優勝できました。ただ東北リーグ入替戦の前哨戦で各県の優勝チームで予選リーグをやりませんが、その時にNEC山形というチームに負け、東北リーグには進めませんでした。90年は県リーグで優勝、東北リーグ入替戦の挑戦権を得て勝って、やっと東北リーグに昇格しました。88、89年は監督も社員でしたが、このままではいけないということで、90年に外部から監督を招きました。鈴木武一さんという方で、読売クラブでプレーした後に読売クラブのユースの監督をしました。90年には日

本代表と練習試合をしています。「ドーハの悲劇」の前のあたりで、キングカズや柱谷、ラモスなどすごいメンバーと試合をしたのが思い出です。私たちはただ試合をするだけでなく、会社としてサッカー部として地域協調活動もしていました。各地の事業所で少年サッカー大会や子どもサッカー教室なども行っていました。

91年は東北リーグ初参戦2位で、優勝はNEC山形。全国社会人で東北地区予選を突破し全国大会ベスト8になりました。初めて全国に行ったのがこの年です。92年は東北リーグ2位、社会人全国大会も2年連続ベスト8。93年の東北リーグは3年連続の2位。この年の優勝もNEC山形。目の上のたんこぶだったNEC山形が全国の地域リーグ決勝大会で勝ち、JFLに昇格しました。

この年、天皇杯で初めて全国大会に出場しました。私は92年に引退していますので、後輩たちが頑張りました。本大会1回戦はサンヨー電機洲本に3対2で勝ち、2回戦に進出。当時はJリーグが開幕した年ですが、鹿島アントラーズと対戦して先制点を取りましたが、結果は1対6で敗れました。全国社会人はベスト4の戦績でした。いろいろ探しましたら、当時の鹿島アントラーズとの試合がYouTubeにアップされていたのでご覧ください。

Jリーグが開幕したことで、全国各地でJリーグのチームを設立する動きが出てきました。宮城県も知事や財界人が発起人となって懇談会を立ち上げ、94年1月に当社サッカー部を母体に新クラブを発足させる方針を決定、当社に申し入れしました。94年3月に当社として申し入れを了承し、東北電力チームが発

展的に解散して、94年11月にブランメル仙台に移管されました。東北電力の選手たちは2年間休職扱いとなり、ほぼ全員がブランメルに参加しました。そういった動きの中で、94年シーズンは何が何でもJFLに昇格しなければならず、監督、選手とも相当なプレッシャーがあったと聞いています。結果は東北リーグ優勝、全国地域リーグ決勝大会も予選リーグで2勝、決勝リーグでも2勝1敗で優勝でき、JFL昇格が決まりました。監督、選手は最低限の仕事、それでも最大限の仕事ができて非常にほっとしたという話を聞きました。

2015年にベガルタ仙台と市民後援会が「ベガルタ仙台20年誌」を刊行しました。その中にブランメル仙台とベガルタ仙台の前身である「東北電力サッカー部物語」が12ページにわたって掲載されています。

最後に、2年間の休職期間が終わった選手たちはどうなったか？選手たちは2択に迫られます。一つはブランメル仙台に合流せず東北電力社員として残る道。もう一つは東北電力を辞めてブランメル仙台のプロ選手になる道。ほぼ全員が会社に戻ってきましたが、4～5人が自分の夢を追求めてプロになりました。ただプロはすごく厳しく、長くいられずに退団した。学校の先生になったり、JFLのソニー仙台に移ったりなど別の道を歩んだと聞いています。

皆さんがあまりご存じでない当社の70年の歴史の7年間の一部をご紹介します。当社は来月1日で70周年を迎えます。地域の皆さまとの絆をこれからも大切にして、皆さまのご期待に添えるようこれからも努力してまいります。

出席報告					寄付報告			
出席委員会					国際奉仕委員会			
第3186回例会（4月28日）			第3184回例会（4月14日）			4月28日現在		
出席率		56.9%	出席率		67.8%	財団寄付額		¥390,300
総会員数		60名	総会員数		60名	目標達成率		33.6%
出席数		33名	出席数		41名	寄付者数		21/62名
出席義務会員		58名	出席義務会員		59名	米山寄付額		¥280,800
出席免除会員		2名	出席免除会員		1名	目標達成率		45.3%
欠席数		25名	欠席数		0名	寄付者数		20/62名